

こうほう ショッキング

Vol.16

Kōhō shocking

すぎむら ともりの
杉村 智律 さん



プロフィール

敵原町日掛地区出身・在住。37歳。
金田小学校、佐須中学校を卒業後、県立諫早農業高校に進学。卒業後すぐに帰島し、現在は自動車整備関係の会社に勤務。佐須出身者ら有志でつくる地域おこしグループ「佐須響心会」の発起人で会長。
趣味は映画観賞とコーヒーを飲みながらのガールズトークならぬ、おっちゃんトーク。妻と母の3人暮らし。

「佐須響心会」について教えてください。

昨年7月26日に設立されたばかりの地域おこしグループです。佐須在住や出身者ら70人の有志で構成されています。初年度は小茂田浜神社大祭への参加や佐須街道ロードレース大会に合わせたフリーマーケット、地域内の空き缶回収などを行いました。何せ初めてのことでなので正直まだまだ手探りですが、響心会の輪で生まれる人的交流を地域の活性化に繋げていければと思っています。

グループ結成を後押ししたものは？

そうですね・・・色々ありますが、佐須地区を代表する伝統行事小茂田浜神社大祭と一緒に盛り返したいという気持ちがありました。私の住む日掛もそうですが、過疎化や高齢化が進み一つの地区で何かを存続させていくというのが難しくなっています。祭りは小茂田地区の人たちが長年支えてきており、元寇襲来の歴史を伝える貴重なものですから、佐須地区全体で作り上げていくことが必要ではないかと考えました。そこで、何か出来ないかと、つしま

蒙古太鼓保存会の阿比留秀雄先生に指導を仰ぎ太鼓の練習を始めました。

そしてもう一つ、通称佐須地区って言われますが実は地区が13もあり、それらを繋ぐネットワーク的なグループがこれまでありませんでした。「みんなが輪になれるものを！」そんな強い思いが、響心会を立ち上げるきっかけになりました。意外と周りからは冷めた人間って思われているんですが（笑）。対馬の将来を思うとき、「本気にならなければ！」と心は熱くなっていました。

オリジナルTシャツも作られたとか？

今日着ているのがそうです。「郷土の心みんなに響け」の合言葉を、背中にでっかくプリントしました。活動資金でもありますが、故郷を思う心を佐須から対馬へ、そして島外へも発信できればと願ったTシャツです。一般の方にも販売していますのでよろしければ購入をお願いします！

農業高校に進んだのは？

以前、実家が林業だったことが一番ですかね。その頃、佐須

中から諫農に進学する生徒は多く、私の同級生も6人いました。ラグビー部や相撲部が有名で、佐須の先輩には花園の全国大会に出場した人もいます。そういった先輩たちにも響心会に協力していただければと考えています。

杉村さんが尊敬する方は？

ちよつと照れますが母です。父が亡くなった後、苦労しながら家族を支えてくれました。ボランティア精神というか見返りを求めない生き方はすごいなって思うし、母と生活していると「自分ってちよつぽげやな」って気付かされます。「あなたにかなう人はおらんばい」って思わず言ってますね。感謝してます。

夢は・・・!?

「私たち響心会一人一人の思いを広げ、佐須からたくさんの人たちに対馬の心を響かせることができれば！」

毎回、登場して下さった方に次の方をご紹介いただくこのコーナー。次回のお出演は敵原町の農業、竹中識晴さんです。お楽しみに。

65万部発行のフリーペーパーで対馬をPR



ピーキは30代の働く女性をターゲットにしています。

「フクオカ・ピーキ」は発行部数65万部、福岡市内全域をカバーするフリーペーパーです。もっと多くのお客様に対馬に来ていただくため7月15日号で対馬の特集を組みました。「開運求めてパワースポット巡り」と題して和多都美神社や烏帽子岳を紹介し、「ろくべえ」や「とんちゃん」など対馬のグルメや「対馬ちゃんぐ音楽祭」もPRしています。さらに対馬のお酒、塩、真珠のストラップを抽選で各3名にプレゼントするコーナーを設けPR効果を計ります。昨年はラジオコマーシャルで耳から対馬をPRしましたが、今年は視覚的に対馬を売りだす活動もしています。

福岡で見つけた“対馬のいいもの”

福岡事務所のスタッフが、福岡で触れた対馬をご紹介しますコーナーです。

対州馬「福真(ふくま)くん」!



おとなしい性格なのでモデルには最高です。

九州国立博物館で開催中の特別展「馬アジアを駆けた二千年」にあわせて、馬と親しむためのイベントが開かれています。その中の「本物の馬と仲良しになろう」というコーナーに対州馬の「福真くん」が対馬からゲスト出演しています。

子供達に声をかけられたり、スケッチされたり・・・おとなしい性格の福真くんはなかなか愛嬌は振りまかせませんが、福岡の子供達が福真くんに触れることで対馬をより身近に感じてくれたらと願いながら、「福真くんがんばれ!」とエールを送ってきました。



「みんなを支える
公的年金」

公的年金制度とは

高齢者になったとき、障害の状態になったとき、一家の担い手が死亡したときなどに所得保障を行い、本人または家族の生活を支えていくのが公的年金です。

公的年金は、多くの国々で制度が整備されており、日本での基本的な仕組みは次のとおりです。

国民皆年金(全ての国民が年金保障の対象となつていきます)
社会保険方式(保険料の納付実績に応じて、年金を受ける権利・金額が決まります)
世代間扶養(現役世代の納める保険料が、今の高齢世代の生活を支え、現役世代が高齢者になったときには、次の世代の納める保険料が生活を支える仕組みすなわち「世代と世代の支え合い」を基本理念としています)

公的年金に求められているもの
生涯にわたり支給されるもの

年金コーナー



終身年金であること
年金水準が、年金受給者の生活の基本的な部分を支えていること。
長期間にわたって収支が均衡する仕組みとなつていくこと。このため、わが国の公的年金は、国民全体で保険料を出し合い、社会全体で支えていく仕組みとなつていきます。

公的年金制度の創設

日本の公的年金制度は、労働者を対象とした労働者年金保険制度(厚生年金保険の前身)が昭和17年に実施され、その後昭和36年に自営業者などを対象とした国民年金制度が実施されたことにより「国民皆年金体制」となりました。

【ご存知ですか?】 国民年金の任意加入制度

老齢基礎年金は、20歳から60歳になるまでの40年間保険料を納めなければ、満額の年金を受け取ることができません。国民年金保険料の納め忘れなどにより、保険料の納付済期間が40年間に満た

ない場合は、60歳から65歳になるまでの間に国民年金に任意加入して、満額の年金に近づけることができます。なお、老齢基礎年金を受給するためには、保険料の納付済期間や保険料の免除期間等が原則として25年以上必要となりますが、この要件を満たしていない場合は、70歳になるまで任意加入することができません。(ただし、昭和40年4月1日以前に生まれた方に限られます)また、海外に在住する日本国籍の方も任意加入することができます。

問い合わせ

日本年金機構
長崎北年金事務所

095(861)1582

長崎北年金事務所
出張年金相談

9月9日(木)
対馬市役所

別館第1会議室
9時から17時まで

9月10日(金)
美津島地域活性化セン

ター別館会議室
9時から13時まで